

21010 精神保健学 Science of Mental Health		2 年次～ 通年 4 単位	
担当者	佐藤 厚子	履修可能学科	E Pe Pc C W F N
		関連資格	精福士必 (W)
サブタイトル	「こころの健康」を考える		
授業内容 ・ ねらい	<p>この科目は、昔は「精神衛生」という名前で、専ら精神科の医師が担当していました。私の理解では「精神衛生」は英語の mental hygiene の訳語であり、「精神保健」は mental health の訳語です。そして原文を使うアメリカで mental hygiene から mental health にことば使いが変わって来たことにともなって、それを輸入した日本でも訳語が変わったものと思われます。医学の一分野である hygiene (衛生学) からふつうの英語である health にことばが変わったことにより、そのことばが指し示す内容も変わり、mental health は医学だけが扱うものではなくなり、心理・社会・福祉を含めた隣接諸科学が共有することばになったわけです。</p> <p>では、この科目で対象とするものは何かというと、一言でいえば「こころの健康」ということです。精神病や精神障害に限らず、人間にとってこころが健康であるとはどういうことなのか、こころが健康であるためにはどうしたらよいか、ということについて考えて行きます。</p>		
授業計画	<p>基本的に右に上げる項目を中心に授業を進めたいと思っています。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、精神保健の概要</li> <li>2、ライフサイクルにおける精神保健</li> <li>3、精神保健における個別課題への取り組み</li> <li>4、精神保健活動の実際</li> <li>5、地域保健と精神保健</li> <li>6、世界の精神保健</li> </ol>	
教科書 参考書	<p>教) 福祉臨床シリーズ 20 『臨床に必要な精神保健学』 (弘文堂) 参) 授業内に紹介します。</p>		
評価方法	前期・後期、それぞれ 1 回ずつ試験を行ないます。		
事前準備学習 履修条件等			